

個人質問通告書

令和8年6月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
1	那須 勇 (60分) 【一問一答】	<p>1 学校給食費の抜本的な負担軽減について</p> <p>(1) 市長の基本認識について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市長は学校給食費の抜本的な負担軽減について、子育て支援及び少子化対策としてどのような認識を持っているのか ・ 給食費の抜本的な負担軽減が人口減少対策の一つとして有効であると考えるが、市長の所見は <p>(2) 「学校給食費の抜本的な負担軽減」を踏まえた今後の方向性について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校給食費の抜本的な負担軽減」の開始を受け、市における小学校給食費の保護者負担はどのようになるのか ・ 「学校給食費の抜本的な負担軽減」の対象外である中学校給食費について、市として独自支援を行う考えはあるのか ・ 将来的な完全無償化に向けた検討状況は <p>(3) 物価高騰が続く中で、全国的には食材費上昇による給食内容への影響が懸念されるが、市では給食の質や栄養バランスを維持するため、どのような対策を講じているのか伺う</p>	市長 教育長
		<p>2 有事の際の危機管理体制について</p> <p>(1) 危機管理体制全般について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市では、有事に対しどのような危機管理事象を想定しているか ・ それぞれの有事に対し、庁内ではどのような指揮命令系統及び対策本部を構築しているか <p>(2) 自然災害時の避難体制について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個別避難計画の作成状況と、その実効性をどのように認識しているのか ・ 「地域で助け合う力」が弱まってきている現状の中で、市としてどのように支援していくのか <p>(3) 消防団を含めた地域防災力について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員減少の現状をどのように分析しているのか ・ 機能別消防団員や女性消防団員の拡充など、新たな地域防災体制についてどのように考えているのか <p>(4) 熊出没への危機管理について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊出没時における情報伝達体制について、市は現在の対応を十分と考えているのか ・ 現在の熊出没情報は事後周知型になっていないか、A I監視カメラやドローンの活用など、新たな技術を導入した予兆把握型の対策を検討する考えはあるか <p>(5) 危機管理における情報伝達について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化する情報伝達手段について、どのように整備を進めていく考えか ・ 大規模災害による停電時や通信障害発生時を想定した情報伝達体制は <p>(6) 大規模災害時の地域の実情に合った危機管理体制について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が安心して暮らせる地域づくりのため、地域の実情に合った危機管理体制の再構築が必要であると思うが、市の考えは 	市長 教育長

個人質問通告書

令和8年6月

		<p>3 防災道の駅の認定について</p> <p>(1) 本市の危機管理における道の駅の位置づけについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅を危機管理・防災の観点からどのように位置づけているのか 災害時における役割や機能について、現在どのような想定をしているのか <p>(2) 防災道の駅認定への考えについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が進める「防災道の駅」について、どのように認識しているのか 防災道の駅認定を目指す考えがあるか 認定に向けた課題をどのように整理しているのか <p>(3) 道の駅だいたいという可能性について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅だいたいという防災機能についてどのように評価しているのか 今後、防災備蓄、非常用電源、通信機能、防災倉庫、救援ヘリの受入れ、避難機能の強化を検討する考えがあるか 	市長
2	千葉 誠 (50分) 【一問一答】	<p>1 人口減少対策と若者・女性に選ばれるまちづくりについて</p> <p>(1) 人口戦略会議による分析結果について伺う</p> <p>(2) 現在実施している人口減少対策の効果について伺う</p> <p>(3) 若者に選ばれるまちづくりに向けた民間・第三者視点の活用と、過疎債などを活用した戦略的な都市整備について伺う</p> <p>(4) 若者や女性の意見をまちづくりに反映する仕組みについて伺う</p> <p>2 大型工事における地元企業参画の推進について</p> <p>(1) 大型工事における地元企業参画に対する市の基本的な考え方について伺う</p> <p>(2) 大型工事における地元企業参画型JVの活用について伺う</p>	市長
3	森 英隆 (40分) 【一問一答】	<p>1 一ノ関駅東口工場跡地の整備計画について</p> <p>(1) 公募中止を判断した経緯等について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 中止を判断する上で、市としてどういった検討がなされたのか 中止理由に「再検討の期間を確保」とあるが、具体的な想定期間は <p>(2) 事業の再検討について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 改めて土地開発事業者を公募する予定があるか 再公募の場合、選定までのスケジュールと選定結果の公表時期は <p>(3) 段階的な開発に対する見直しについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初リリースしていたファースト・セカンドステージの開発プランに変更はあるのか 開発段階をさらに細分化し、区画を分けて開発を進めるなどの見直しを行う予定はないか 公募中止を受け庁内で検討を進めるとのことだが、検討後の具体的なプラン・ビジョンの市民への周知方法は <p>(4) 民間で整備が難しい場合の対応について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> 再検討の期間を経ても民間の関与が期待できない場合、市としてどのような対応が必要と見込まれるか 跡地で、市が本当に必要とする施設の具体的な姿が見えにくい 「屋内型こどもの遊び場」などの子育て支援施設や、雇用を生み出す「共同研究室・コワーキングスペース」などは市の課題解決にとって有効な施設と考える 施設イメージを具体的に打ち出して、民間提案を募ってはどうかと考えるが、市の考えは 	市長

個人質問通告書

令和8年6月

		<p>2 千厩地域の公共施設について</p> <p>(1) 千厩地域の公共施設の改修などについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千厩図書館・千厩体育館・千厩市民センター・千厩アイスアリーナの改修予定について伺う ・ 計画と改修費用について伺う ・ 計画がない場合は今後の方針について伺う <p>(2) 移設などの計画について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各施設の移設や集約の考えを問う ・ 地域住民の意見聴取や集約はどのように行う計画か 	市長
4	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	<p>1 憲法・民主主義を暮らしに生かす市政について</p> <p>一関市は平成18年に「非核平和都市宣言」を行い、翌年の平成19年には日本政府に「非核日本宣言」を求める意見書を提出している</p> <p>(1) 「非核平和都市宣言」を行った市として、政府に核兵器禁止条約参加を働きかける考えはないか伺う</p> <p>(2) 憲法改正の動きに対する見解を伺う</p> <p>(3) 戦争の悲惨さを次世代に引き継ぐために、平和教育が必要と考えるが考えを伺う</p>	市長 教育長
		<p>2 農作物の鳥獣被害について</p> <p>(1) 鳥獣害による被害状況について伺う</p> <p>(2) 電気柵の設置状況について伺う</p> <p>(3) 狩猟者数の推移について伺う</p> <p>(4) 被害防止対策について伺う</p>	市長
		<p>3 危険木の伐採について</p> <p>(1) 5月2日の強風による市道の倒木について状況を伺う</p> <p>(2) 市道沿いの危険木を市の責任において伐採、対策の考えはないか伺う</p>	市長
5	岩淵優 (40分) 【一問一答】	<p>1 インフラの維持管理について</p> <p>(1) 国土交通省が進めている「地域インフラ群再生戦略マネジメント」という新手法への取組についての見解を伺う</p> <p>(2) インフラの破損が進む前に補修して、維持管理費用の縮減につなげる「予防保全型メンテナンス」への転換は進んでいるのか伺う</p>	市長
		<p>2 一関市公共施設等総合管理計画第1期中期計画の取組について</p> <p>(1) 3つの数値目標の実績見込みについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延べ床面積の削減 ・ 普通建設事業費 ・ 対応方針の設定率 <p>(2) 3つの取組の実績見込みについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設保有の見直し ・ 計画的な施設保全 ・ 「新しく造ること」から「賢く使うこと」へ 	市長

個人質問通告書

令和8年6月

<p>6 小野寺道雄 (40分) 【一問一答】</p>	<p>1 人口減少問題について</p> <p>(1) 当市の国勢調査の速報値に対する現状認識について伺う</p> <p>(2) 国勢調査の速報値から見えてくる当市の人口減少対策の課題をどのように捉えているか伺う</p> <p>(3) 国勢調査人口は当市の最大の財源となっている地方交付税の算定の基礎となる基準財政需要額を算出する測定単位として用いられるが、地方交付税額への影響をどのように捉えているか伺う</p> <p>(4) 一関公共職業安定所が令和8年3月末現在でまとめた新規高校卒業者の内定状況は、管内就職率は42%で対前年比6.7ポイント減、県外就職率は42.3%で対前年比8.4ポイント増である 全体の就職希望者が減少する中、例年以上に県外に流出している状況にあるがどのように分析しているか伺う</p> <p>(5) 令和8年4月の総務省の発表によると地域おこし協力隊員制度がスタートして以来、隊員数は全国で8,000人を超え、令和2年4月1日から令和7年3月31日までの直近5年間に任期を終えて活動地と同一市町村に住んだ人の率、定住率は57.5%で、近隣自治体を含めると定住率は70.3%である 岩手県全体では296人に対して定住した隊員は188人であり、定住率は63.5%となっている 当市ではこれに対して任期終了した隊員は4人で、うち定住した隊員は2人である この間の受入隊員が少ない理由について伺う</p>	<p>市長</p>
	<p>2 一関遊水地営農について</p> <p>(1) 洪水貯留後に発生した災害の復旧はどのように行われるのか伺う</p> <p>(2) 遊水地内に堆積した土砂や流木等の処理はどのように行われるのか伺う</p> <p>(3) 洪水貯留後に農地がダメージを受け、営農再開には土壌改良等の必要性が想定されるがどのような対策を考えているのか伺う</p> <p>(4) 営農再開までのプロセスはどのように想定しているのか伺う</p> <p>(5) 洪水貯留後の営農には収量や品質低下などが懸念されるほか、営農再開までの間の所得補償はどのようになるのか伺う</p> <p>(6) 一関遊水地は小堤と周囲堤からなる二線堤方式の人工の構造物である 災害時はもとより平時においても恒常的な維持管理費が必要と考えるが、国では供用開始に当たって、予算を含めどのような対応を考えているのか伺う</p>	<p>市長</p>

個人質問通告書

令和8年6月

7	菅原行奈 (60分) 【一問一答】	<p>1 JR大船渡線狛鼻溪駅の“階段問題”とスロープ整備について JR大船渡線狛鼻溪駅は、観光地の玄関口でありながら、急な階段しかなく、スロープが整備されていない 特にインバウンド観光客や高齢者、ベビーカー利用者が大きな荷物を抱えて階段を昇降しており、転倒の危険性も指摘されている (1) インバウンド増加を踏まえたJR狛鼻溪駅の“階段問題”をどう捉えているか伺う (2) 狛鼻溪舟下りとの連携で、JR狛鼻溪駅のスロープ整備計画はあるか伺う</p>	市長
		<p>2 公園利用の多様化について 子育て世代からは、キャラクターを活用した“ポケモン公園”のような、子供がわくわくする公園を望む声が寄せられている また、ペットの飼い主からは、公園の犬の立入禁止を見直してほしいという要望もある 市として、公園利用の多様化にどのように対応していくのか伺う</p>	市長
		<p>3 市街地のカラスのふん害、毎年の苦情への対応について 一関市街地では、毎年のようにカラスのふん害に関する苦情が寄せられている 通学路や企業店舗前では特に深刻であり、市民生活に多大な影響を及ぼしている また、市外から来訪されその場に居合わせた方にも驚かされている これまでの対策の検証と、今後の継続的な対策方針について伺う</p>	市長

個人質問通告書

令和8年6月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
8	永澤由利 (40分) 【一問一答】	1 千厩アイスアリーナ再開に向けた対応について 千厩アイスアリーナの冬季間の使用が中止されて2年が過ぎた調査を進めている経過について発表はあるものの、方針について明らかにされていないことから、今後の再開に向けての方針について伺う	市長
		2 地域防災力の向上と自主防災組織支援について (1) 自主防災組織の活動状況について伺う (2) 防災訓練や避難所運営における問題点への対応状況及び今後の自主防災組織の強化策について伺う (3) 消防団員減少の現状を踏まえ、今後の取組を伺う	市長
9	藤代崇 (40分) 【一問一答】	1 観光振興について (1) 観光客誘客に係る一関市、一関市観光協会、世界遺産平泉・一関DMOといちのせきニューツーリズムの役割分担と連携状況について伺う (2) 観光客誘客に係る平泉町など近隣自治体との広域連携について伺う (3) 受入地の整備として、外国人観光客が旅行しやすい環境をつくるため、市や関係団体等のレベルアップセミナーや現地研修等のような取組をしているか伺う (4) 令和8年度におけるインバウンド客受入体制の整備、情報発信・プロモーションの取組について伺う (5) 当市の課題であるJ R一ノ関駅から目的地への二次交通の現状について伺う (6) 一関市観光協会が行う外国人案内業務(英語、中国語各1名)について、さらにもう一言語増やす研究を行っていることに対し、市の支援はどのようなになっているか伺う (7) ガストロノミーツーリズムに取り組む考えはないか伺う (8) 歴史ある室根神社特別大祭や天下の奇祭大東大原水かけ祭り等の外国人目線で魅力的に映る伝統文化的な行事を活用した誘客促進についてどのような取組をしているか伺う (9) アストロ・ロマン大東、牧場のレストラン等、市内の観光関連施設のうち老朽化により使用できない施設が増えているが、今後の改修計画を伺う	市長
10	齋藤禎弘 (40分) 【一問一答】	1 中小事業者支援について アメリカとイスラエルによるイランへの攻撃を発端にしたホルムズ海峡封鎖により日本国内に様々な深刻な影響を及ぼしている 市民生活においては、指定ごみ袋が店頭で品薄状況になるなどの影響が出ている また、全ての事業者において、ナフサ由来の原材料の物品の入手が困難な状況になり、事業継続が困難になるなど深刻な影響を及ぼしている 市内のエッセンシャルワークを担う中小事業者が事業を継続できなくなれば、市民生活に多大な影響を及ぼすことは必至である 安心して市民生活が送れるよう、中小事業者の支援は急を要する (1) ホルムズ海峡閉鎖に伴う市内の事業者への影響について、市の認識を伺う (2) 事業継続のため、業種を問わず、直ちに現金給付など、あらゆる支援策を講ずるべきと考えるが、いかがか伺う	市長

個人質問通告書

令和8年6月

		<p>2 国民健康保険税について 全国どこでも、高すぎる国民健康保険料（税）に全国の国民が悲鳴を上げている 特に、2026年度は子ども・子育て支援金分が新たに賦課されることとなり、被保険者の保険税の負担はさらに大きくなることになる 子育て支援や他の健康保険制度との保険料の均衡を図る上でも高すぎる国民健康保険税の引下げは急務である</p> <p>(1) 現在の滞納者数、収納率、差押処分の件数について近年の動向を伺う あわせて、資格証明書（特別療養）、資格情報のお知らせ（特別療養）発行世帯数を伺う</p> <p>(2) 子ども・子育て支援納付金の被保険者1人当たりの負担額について伺う</p> <p>(3) 子育て世帯の支援のためにも18歳以下の均等割を免除、もしくは、均等割相当額を一般会計から給付金等で給付するべきと考えるが、いかがか伺う</p>	市長
		<p>3 駅東口工場跡地について 一関市は具体的な活用策がないまま、NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地（以下、駅東口工場跡地という）を取得することとした しかし、駅東口工場跡地の利活用に向け、土地開発事業者の公募を進めて来たが、事業者側の提案予定内容が市の公募要件に合致しないなどの理由で公募を中止した また、駅東口工場跡地の利用計画について、その妥当性や実現性について、さらに跡地の取得そのものについても、その妥当性などを含め、改めて検証する必要がある</p> <p>(1) 土地開発事業者の公募を中止した理由について伺う</p> <p>(2) これまでに駅東口工場跡地の利活用の検討に要した費用の詳細について伺う</p> <p>(3) 開発計画の今後の見通しについて伺う</p>	市長
11	佐藤進治 （40分） 【一問一答】	<p>1 犯罪被害者等支援について 岩手県は犯罪被害者等支援条例の全市町村での整備を目指し、市町村への働きかけを進めている 令和8年4月には花巻市をはじめ6市町村で本条例が制定された 犯罪被害者支援の取組について伺う</p>	市長
		<p>2 成年後見制度について</p> <p>(1) 令和8年度までの第2期一関市成年後見制度利用促進計画の進捗について伺う</p> <p>(2) 令和9年度以降の成年後見制度利用促進計画に関する取組について伺う</p>	市長
		<p>3 終活支援について 独り暮らしで身寄りのない高齢者の終活支援の取組について伺う</p>	市長
12	皆川千秋 （60分） 【一問一答】	<p>1 空き家対策の効率的・効果的な情報発信と一元化について</p> <p>(1) 固定資産税納税通知書の発送機会を活用した効率的・効果的な情報発信について伺う</p> <p>(2) 「全国版空き家・空き地バンク」への早期参画について伺う</p> <p>(3) 空き家対策における「ワンストップ窓口」の設置について伺う</p> <p>(4) 空き家バンク事業における民間の専門性の活用について伺う</p>	市長
		<p>2 軽救急車導入と人員確保に向けた救急体制の強化・拡充について</p> <p>(1) 救急車が通行困難な道路の現状認識について伺う</p> <p>(2) 救急車が通行困難な現場における現状と課題について伺う</p> <p>(3) 軽救急車導入への見解と救急体制の強化・拡充に向けた今後の対応を伺う</p>	市長

個人質問通告書

令和8年6月

13	佐藤幸淑 (50分) 【一問一答】	<p>1 スクールバスの運行について</p> <p>(1) 現在のスクールバス運行状況と教育委員会としての課題をどのように認識しているか伺う</p> <p>(2) スクールバス対象区域の見直しの考えを伺う</p> <p>(3) 遠距離通学費補助金について現行の制度の課題と見直しの考えを伺う</p> <p>(4) 通学困難地域の設定基準について考えを伺う</p> <p>(5) スクールバスの運行拡大や新設についての考えを伺う</p>	教育長
		<p>2 窓口業務における電子決済導入について</p> <p>(1) 窓口業務における各種手数料の支払方法の現状を伺う</p> <p>(2) 電子決済に対する当市の方針及び検討状況を伺う</p> <p>(3) 電子決済導入に対しての課題を伺う</p> <p>(4) 今後の窓口業務における電子決済の導入について見解を伺う</p>	市長
14	猪股晃 (60分) 【一問一答】	<p>1 中山間地域等直接支払制度について</p> <p>(1) 第5期対策までの取組の評価を総括的にどう分析しているか伺う</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払制度に対して市が期待することを伺う</p> <p>(3) 第6期対策において、取組団体数と取組面積が減少していることの要因をどう捉えているか伺う</p> <p>(4) 10割交付から8割交付に移行した組織数が減少した要因をどう捉えているか伺う</p> <p>(5) 第5期対策において、集落機能強化加算に取り組んでいた組織数と交付金額、主な取組内容と、本取組による成果をどう分析しているか伺う</p> <p>(6) 交付金の活用について、各集落では、交付金の個人配分と共同取組活動費を決めて取り組んでいるが、配分割合の傾向を伺う</p> <p>(7) 第6期対策から交付金の10割交付要件として、ネットワーク化活動計画の策定が出てきたが、改めてこの目的について伺う</p> <p>(8) ネットワーク化活動計画に取り組む組織数と面積はどれくらいあるか、市全体の組織数や面積に対する割合を伺う</p> <p>(9) ネットワーク化活動計画の策定により、市として取組団体の目指す姿をどう想定しているか伺う</p> <p>(10) 制度に対して、第1期対策から第6期対策までの変遷と、その間の市の評価に基づき、第6期対策や今後の制度内容の見直しなど、市として考える方向性を伺う</p>	市長
		<p>2 移住・定住対策について</p> <p>(1) 直近5年間の移住者数の動向を伺う</p> <p>(2) 移住定住対策として、行っている施策を伺う</p> <p>(3) 移住・定住に向けた課題をどう捉えているか伺う</p> <p>(4) 課題を受けて、今後の取組をどう図っていくか伺う</p>	市長

個人質問通告書

令和8年6月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
15	千葉栄生 (40分) 【一問一答】	<p>1 畜産振興と自給粗飼料の生産向上について</p> <p>(1) 畜産経営支援について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料価格や資材価格高騰による市内畜産経営への影響をどのように認識しているか ・ これまでの経営支援策の成果と今後の支援は <p>(2) 粗飼料自給率向上について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内における自給粗飼料の生産の現状と課題は ・ 稲ホールクロップサイレージや牧草生産拡大に向けた取組は ・ 耕畜連携推進に向けた取組は <p>2 犯罪被害者等支援条例について</p> <p>(1) 本市における犯罪被害者等の支援の現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪被害者等が抱える精神的・経済的負担や二次被害について、市はどのように認識しているか ・ 本市における相談件数や支援の現状をどのように把握しているか ・ 庁内及び警察、医療機関、民間支援団体との連携体制の現状は <p>(2) 犯罪被害者等支援条例制定に対する市の考え方について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国で条例制定が進む中、本市としての条例制定を検討する考えは <p>(3) 見舞金制度やワンストップ相談体制整備について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見舞金制度や転居支援、カウンセリング支援などについて導入する考えはあるか ・ ワンストップ相談支援の体制整備の考えはないか <p>(4) 二次被害防止に向けた取組について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNSなどによる誹謗中傷や地域社会での風評被害防止についての市の認識は 	市長
		<p>3 学校給食の充実と給食費負担軽減について</p> <p>(1) 給食費負担軽減について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の給食費支援策の内容と効果は ・ 県内で完全無償化が進む中、本市としての中学校給食無償化をどのように考えているか ・ 完全無償化に向けた最大の課題は何か <p>(2) 給食の質について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物価高騰の中で、給食の量・栄養・質をどのように維持しているか ・ 地産地消や食育の取組は <p>(3) 県立附属中学校の格差について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立附属中学校で給食未実施となっている現状をどのように認識しているか ・ 市給食センター活用による県立附属中学校への給食提供について、県との協議状況は <p>(4) 今後の方向性について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食を子育て支援策としてどのように位置づけているか ・ 今後の学校給食行政の方向性は 	教育長

個人質問通告書

令和8年6月

16	千葉ちあき (60分) 【一問一答】	<p>1 「デジタル教科書」導入に象徴される教育のデジタル化の在り方とその問題について</p> <p>現在、国において2030年度以降にデジタル教科書の本格導入が予定されている</p> <p>国がデジタル教科書の本格的な制度化を示している一方で、松本文部科学大臣が小学4年生以下や国語などの教科について一律のデジタル化には慎重であるべきとの考え方も示している</p> <p>教育は不可逆性の高い分野であり、「国家百年の計」とも言われている</p> <p>デジタル教科書については、一律に導入すればよいものではなく学年や教科ごとの特性を踏まえた慎重な判断が前提であると理解している</p> <p>(1) デジタル教育導入における学習の質の確保と基本方針について伺う</p> <p>(2) デジタル教科書導入における発達段階・教科特性を踏まえた運用について伺う</p> <p>(3) 教育のデジタル化に伴うリスク管理と統制の在り方について伺う</p> <p>(4) 効果検証と見直しのプロセスの制度設計について伺う</p>	教育長
17	佐藤敬一郎 (50分) 【一問一答】	<p>1 地元建設業の維持と災害対応体制について</p> <p>本市においても建設業者数の減少が続いており、担い手不足、技能者の高齢化、事業承継の停滞など、構造的な課題が背景にあることは言うまでもない</p> <p>しかし、この問題を単なる産業の課題として捉えることは、極めて危険である</p> <p>(1) 一関市内の建設業者数と建設業界で働く作業員数の過去5年の推移を伺う</p> <p>(2) 災害発生時の初動における市と建設業界の対応について伺う</p> <p>(3) 地元建設業を「地域防災の基盤」として、どのように位置づけているのか、市長の認識を伺う</p> <p>(4) 建設業者の減少が続く中で、現行の災害協定や広域連携のみで、災害時の初動対応体制をどのように維持していく考えか、さらに実効性のある対応が可能であるか市の見解を伺う</p>	市長
		<p>2 花泉互市の活性化策について</p> <p>人口減少が進む中、今後の地域振興においては、定住人口だけではなく、交流人口や関係人口をいかに増やしていくかが重要になっている</p> <p>そのような中、花泉地域に古くから伝わる互市は、人と人との交流を生み出し、地域の魅力を発信できる貴重な地域資源であると考えている</p> <p>(1) 互市を交流人口拡大につながる地域資源としてどのように位置づけているのか伺う</p> <p>(2) 互市を地域内行事としてだけではなく、市内外から幅広い世代の人たちを呼び込む交流イベントとして育てていく考えはないか伺う</p> <p>(3) 一関地域や周辺地域の観光資源、農産物等と連携し、互市を核とした周遊型の地域振興につなげる考えはないか伺う</p> <p>(4) SNSや観光媒体を活用したPRの強化を行う考えはないか伺う</p>	市長
		<p>3 所有者不明土地について</p> <p>(1) 所有者不明土地の現状について、どのように把握しているのか伺う</p> <p>(2) 道路・河川整備、農地や森林管理などにおいて、所有者不明土地が原因となり、事業推進に支障が生じた事例はあるのか伺う</p> <p>(3) 所有者不明土地の未然防止のため相続登記の義務化について、市民への周知・啓発をどのように進めているのか伺う</p>	市長

個人質問通告書

令和8年6月

18	岡田もとみ (40分) 【一問一答】	1 就学援助制度の拡充について 物価高騰が家計を圧迫する中、それぞれの家庭の経済状況にかかわらず、全ての児童・生徒が安心して義務教育を受けられる環境を整えるため、当市の就学援助制度について、物価高騰を考慮して認定基準を拡充し、より多くの小中学生の家庭が対象となるよう改定すべきと考えるがいかがか	教 育 長
		2 介護事業所支援について 令和7年12月通常会議の答弁において、「物価高騰対策などを検討する上で状況を把握することは必要、調査について検討したい」との答弁があった (1) 市内訪問介護事業所の現状把握と役割及び課題について伺う (2) 市内介護事業所の経営安定化を図るため、物価高騰対策及び人員確保対策など市の独自支援が求められていると考えるが、市長の見解を伺う	市 長
		3 敬老事業の拡充について 社会や地域に貢献してきた高齢者の方々の長寿を祝い、敬意と感謝の気持ちとして、多くの地区では記念品を届ける事業を実施している (1) 記念品1人当たりの単価825円の根拠について伺う (2) 物価高騰を考慮した予算の増額の検討について伺う	市 長
19	岩 淵 典 仁 (50分) 【一問一答】	1 副市長2人体制による市政運営について (1) 副市長2人体制の目的について伺う (2) 副市長の役割分担について伺う (3) 副市長2人体制に期待する成果について伺う	市 長
		2 鳥獣被害対策について (1) 鳥獣被害(イノシシ・熊)の現状認識と課題について伺う (2) 侵入防止柵補助制度の現状と今後の方向性について伺う (3) 捕獲体制の確保と強化に向けた現状と今後の対策について伺う	市 長